



第74号

木曽川町連区

地域づくり協議会だより

HP



【発行日】令和8年2月1日 【発行者】木曽川町連区地域づくり協議会
 ☎493-0006 木曽川町内割田一の通り27(木曽川庁舎内)
 【メールアドレス】k-chiiki@orihime.ne.jp ☎84-0005
 【ホームページ】https://138kisogawa.org

総数	男	女	世帯数
33,665	16,501	17,164	15,044

木曽川町連区の人口(2025.12.1現在)

開催レポート

徘徊模擬訓練(声かけお助け隊)

思いやり
部会

私たちの街から“徘徊による行方不明者をなくそう！”と体験学習を実施しました。

11月29日(土)木曽川東小学校の校区内にお住まいの方を中心に小学生、中学生、お父さんやお母さん、さらには地域の世話役の方々が4人で1組になり、10組の「声かけお助け隊」を編成いただきました。東小学校の体育館を拠点に付近の神社、弁当チェーン店や銀行の駐車場及び交差点脇の広場など5か所の街角に出かけて実践です。事前に事務局が依頼した高齢認知症徘徊役を見つけて「どうしたのですか？」と声かけして、行く先や名前、住所などを聞き出し、認知症による行方不明らしいと分かると速やかに警察へ通報する取り組みです。普段見慣れない人に声をかけるだけでもなかなか難しいですが、参加者の皆さんは10分間2回の体験を異なった手ごわい認知症役を相手にして見事に目的達成いただきました。

認知症患者は今後も増え65歳以上の高齢者の5人に1人はかかる病気と言われ、増加が予測されます。認知症の行方不明者は60%が同一市内で発見され、地域住民の皆さんによる発見が最多だと伺いました。ご家族の方には患者の持ち物に氏名や住所を記入することや一宮市のGPS端末貸し出し制度利用をお勧めします。認知症になっても安全で楽しく暮らせる街を目指して、みんなが「声かけお助け隊」になりたいものです。



公民館



11月2日(日)第57回木曽川町芸能祭が尾西信金ホールで開催されました。出演団体18で228名が、来賓7名、スタッフ22名そして来場者680名、総勢937名の方々に賑わいました。

出演者は幼稚園児から熟年層までと、幅広い年代のプログラムとなりました。なかでも圧巻なのが、木曽川中学校の生徒さん67名による吹奏楽で、『夢をかなえてドラえもん』の演奏は会場いっぱい元気いただきました。また驚くことに、木秀会さんは初回から全て出演されており、木曽川町の文化・歴史を感じました。

ステージでは色鮮やかな光の演出もあり、大変雰囲気盛り上げていました。合唱3団体、民謡2、日本舞踊1、大正琴や箏・尺八など3、民謡2、ダンス・体操5、詩吟1、吹奏楽1の団体の皆さんが練習の成果を存分に発揮され、プロ顔負けの完成度で大きな感動をいただきました。

今後も地域の皆さまの温かい交流が、文化の祭典を通してなされますことを心より願っています。



《木曽川公民館女性コーラス隊～に参加して♪》

昨年の舞台を見て、今年は私も参加してみたいと思い応募しました。大変面白くて楽しい声楽の先生のお話や、グループの皆さんとの時間が嬉しく、またステージで発表できたことが、とても良い思い出となりました。皆さんと仲良くなれ、本当に貴重な時間でした。

来年も皆さんにお声がけして、是非参加したいと思います。(参加者S)



きそがわ クイズ

私たちが住んでいる「木曽川町」は、いつごろからこの名前になったのでしょうか？

明治時代の(①始め、②中頃、③終わり頃)

大正時代の(④始め、⑤中頃、⑥終わり頃)

昭和時代の(⑦始め、⑧中頃、⑨終わり頃)

から選んでね。

答えは最後のページだよ！

活気部会は、活力あふれるまちづくりを目指し、地域の皆さまに木曽川町の良さを広めていく活動をしています。

近年、『BISHU』ブランドとして、この地方の毛織物が注目されています。木曽川町でも、「ガチャマン景気」と呼ばれた時代もあり、毛織物づくりが昔から盛んでした。木曽川町が誇る産業でもあります。

そこで11月21日(金)に、玉ノ井にある葛利毛織さんに協力してもらい、木曽川町再発見講座『BISHU 毛織物のすばらしさを体験しよう！』を開催しました。参加者は15名でした。この日は学校ホリデーの日でもあり、大人の方だけでなく小学生も数名参加してくれました。毛織物工場を社長さんのガイドで見学しました。簡単な機械操作も体験しました。昭和初期より使われているシャトル織機が使われ、まさに「ガチャマン景気」と音がする昔ながらの工場風景でした。毛織物づくりは、整経・綜統通し・箆通し・整織・検反など、多くの工程があり、参加者は尾州伝統のものづくりの技術と手織りの風味を目にしました。皇室に献上した生地・フランスで注目された生地・200年前ナポレオンがまとったマントと同じ生地なども見せてもらい、毛織物の魅力を多く知ることができました。

葛利毛織さんは100年以上の歴史があり、工場を含む9棟が国の登録有形文化財になっています。また、映画「海賊と呼ばれた男」のロケ地になったことがあり、岡田准一さんが訪れたそうです。質疑応答の時間では、毛織物に関して多くの質問があり、『BISHU』製品の魅力を再確認することができました。最後に、好みの毛織物の端布をお土産としてもらい、有意義な時間を過ごすことができました。



木曽川
商工会

第49回木曽川町商工まつり

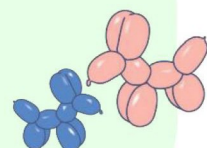


木曽川商工会では、一宮市木曽川町の地場産業である繊維産業や特産品等を広く地域に宣伝紹介するため、木曽川町商工まつりをイオンモール木曽川1Fノースコート、平面駐車場特設会場、尾西信金ホールで開催しました。11月9日(日)のイオンモール木曽川1Fノースコートでは、女性部による生地の販売をはじめ会員企業による和菓子の販売・企業展示・相談会の実施、マルシェの出展を行いました。

平面駐車場特設会場では、会員企業によるゲーム・野菜の販売・グッズ販売・健康相談・木工教室の体験、消防署による救急車の展示・AED体験コーナー、自衛隊・警察によるジープ・パトカーの展示、木曽川町のタマネギのPRとして修文大学・健康栄養学部によるキッチンカーで「玉ねぎ串」、「パンケーキサンド」、「玉ねぎブリトー」、「玉ねぎ田楽」を販売し、大人も子どもも楽しめるイベントを開催しました。

11月8日(土)、9日(日)尾西信金ホールでは、修文学院高等学校和太鼓部、修文学院高等学校吹奏楽部、一宮市ストリートダンス協会、彩響衆楽、地元住民の方々によるロックバンド・太鼓・エアロビクス・アコースティックバンド・ベリーダンス等をステージで発表いただきました。

イオンモール木曽川1Fノースコートのステージイベントとしては、紅白のお餅プレゼント、「バルーンパフォーマーエル」によるスペシャルパフォーマンスショー、「一宮モーニング応援団」によるステージ&じゃんけん大会と地域住民の方が楽しめるまつりとして、多くの皆様にご来場していただきました。



祝

木曽川東小学校開校50周年

木曽川東小学校は昭和51年に開校し、今年度50周年を迎えました。その記念行事として、10月3日(金)に子ども達が企画した「東っ子50周年フェスティバル」を開催しました。

4~6年生がお店を出し、低学年と一緒にお店をまわることで、和やかな雰囲気に包まれました。子ども達で準備から運営まで力を合わせ、笑顔あふれる一日となりました。また、これまでの5千人以上にのぼる卒業生から受け継いだ木東小のすばらしさや伝統を未来につなげるために11月17日(月)、講師に鈴木中人様をお迎えして「いのちのバトンタッチ」の講演会を開催しました。

これからも感謝の気持ちを忘れずに、受け継いだバトンをつないでいきます。



公民館の新企画として「きそがわ謎解きウォークラリー」を11月15日(土)に開催しました。初の試みということでスタッフ一同苦慮しながらも、いろんな年齢層の方々に楽しんでもらえたらとアイデアを絞り企画し、以下の3点をコンセプトとしました。

1. 健康づくり 歩くことと頭を使うことによる健康意識の向上と運動習慣づくり
2. 家族3世代(子、父母、祖父母)の絆と地域の親睦と交流を深める。
3. 地域の歴史・史跡を理解し親しみを身近に感じてもらう。



イベントは木曽川庁舎を起点とした3.21kmのコース(天神社・護国神社・八剣神社などを巡る)をウォーキングしながら、ヒントを得て謎解きをしながらゴールを目指しました。



当日は秋晴れのウォーキング日和となり、約180名の家族・友達・グループなど、幼児から高齢の方々まで多くの参加がありました。トピックスとして八剣神社宮総代から神社参りの作法を教えてもらいました。



またおばあさん、娘さん、お孫さんと3世代で参加していたおばあさんが、他の人の後を追いついてしまったなどのハプニングもありました。



終了後は皆さん、いい汗をかき、頭を使ったので適度な疲労感と、支給された飲み物とあんパン(NHK朝ドラ“あんぱん”から)などをほお張り、楽しそうな姿が散見されました。

参加者からは、楽しかった/面白かった/疲れた/むずかしかった/地域の歴史・史跡のこと知らないことが勉強になった/孫たちと歩けて良かった/ボランティアの人が親切/次回もぜひ参加したいなどの意見が多く寄せられ、目的が少しは達成できたかと、スタッフ一同先ずは安堵し、喜ばしい気持ちとなったのが正直な感想です。

今後とも、我が町木曽川町の活性化に少しでもお役にたてれば幸いです。

女性部会

きて♪きいて おはなしフェスティバル



12月13日(土) 木曽川公民館講堂にて、木曽川町で活躍する読み聞かせボランティアの皆さんと女性部会がコラボレーションして、「きて♪きいて おはなしフェスティバル」を開催しました。

各小学校、幼稚園、図書館、児童館、保健センター、体育館などにポスター掲示、チラシを配布し、当日は100人を超える親子さんが参加して、大盛況でした。12月ということもあり、子育てネットワーカーさんによるミュージックベルの演奏でクリスマスムードを盛り上げ始まったフェスティバル。木曽川町内の小学校や図書館を中心に活動する、読み聞かせやおはなしの6グループ(たまてばこ・たんぽぽ・翼・いろりん・ぱりん・トライアングル)の皆さんに、学生ボランティアが加わり、それぞれ趣向をこらしたおはなしを披露してくれました。最前列に座ってじっくりおはなしに耳を傾ける子、乗り出すように絵本に見入る子、タペストリーシアターで一緒になって笑い声をあげる子など、様々におはなしを楽しむ姿が見られました。

別コーナーでは、絵本にまつわるクイズラリーに参加して頭をひねったり、大きな布絵本に直接触れたり、年齢に応じた楽しみ方を見つけていました。会場の一角で目を引いたのは、連なって動く子ども達。一宮布絵本の会が用意してくれたねこバスに乗って、ジブリの世界を堪能したようです。また、皆さんの協力で集められたリサイクル絵本を、じっくり手に取って選ぶ親子連れも見られました。さらに、自分の好きなおすすめ本のタイトルを書いてもらい、紙のツリーに飾り付けをしました。こちらは、終了後、木曽川図書館に掲示してあったので、ご覧になった方もいるかもしれません。

今回は、絵本以外に工作コーナーも用意され、布を張った缶バッジや毛糸を用いたクリスマスツリーを、大人も一緒に作って熱心に作る姿が見られました。学生ボランティアさんに張り付くように折り紙を教えてもらう子ども達も。そして終了後、自分なりに工夫して飾り付けた作品を、大事そうに持って帰る笑顔が印象的でした。子ども達が本に親しむ機会を作りたいと、思いを同じくする多くの人達の協力を得て、初めて実施されたフェスティバルですが、子どもだけでなく、保護者をはじめとする大人も楽しい時間をすごすことができたようです。

きそがわ掲示板

《中野の渡し》の廃止！ あと2か月！

「協議会だより10月1日号」でもお知らせをしましたように、あと2か月。
3月末には廃止されます。400年以上の歴史を持つ非常に古い渡し船。是非体験を！
住所：一宮市西中野番外
運休日：月、木曜日 料金：無料

特別休館日のお知らせ 玉堂記念木曽川図書館

図書館資料の点検・整理のため、
次の日程で休館します。
2月12日(木)～2月18日(水)
休館中の図書・雑誌・紙芝居の返却は、
「時間外図書返却ポスト」(南玄関横、
北側職員通用口横)をご利用ください。

木曽川中学校卒業式 3月6日(金) 午前中

3小学校の卒業式

3月19日(木) 午前中
それぞれの体育館で執り行われます。

中学校3年生及び
3小学校6年生の在籍者数
(令和7年12月1日現在)

木曽川中学校	321名
黒田小学校	96名
木曽川西小学校	111名
木曽川東小学校	104名

小中学校の修了式

・3小学校、木曽川中学校
……3月24日(火)



「あなたのいちおし」写真や地域の情報の投稿をお待ちしています。
HPや地域づくり協議会だよりでご紹介させていただきます。
地域づくり協議会の公式ラインを「お友達登録」して、トーク画面から投稿してください。
※宗教や政治、利害関係等に関する内容はNG。個人情報等へのご配慮をお願いします。

お友達登録
記念の粗品
プレゼント中

友だち募集中



開催
レポート
(公民館)

「花餅と干支飾り作り」

公民館女性学級

令和7年度最後の講座を、12月4日(木)に40名の方に参加いただき開催しました。

9月の講座で作った「豆畳・ミニかご」、そして今回の「花餅」でお正月を飾る手作りの1つの作品の完成です。初めは、「手作りは苦手だからできるか心配」との声も聞かれましたが、皆さんと一緒に楽しく作品を仕上げることができました。

少々形がゆがんだりしても、自分で作ったものには愛着がわきます。干支飾りは昨年の「巳」に続き「午」を紙バンドで作りました。ここを折って、そこに貼って…細かいので苦労しながらも世界に1つだけの作品の完成です。きっとお正月飾りとして「花餅」と一緒にお部屋を素敵に飾ることと思います。

今年度も多くの方に参加していただきましたが、来年度も皆さんが楽しんでいただける講座を計画したいと思います。



「防災訓練を開催しました」

木曽川町連区町会長協議会

11月16日(日)、黒田小学校において木曽川町連区防災訓練を開催しました。

訓練は木曽川消防署・消防団木曽川北分団・一宮市危機管理課の協力をいただきました。

参加者は、一寸先も見えないスモークハウスの中を手探りで進む体験のあとで4つのグループに分かれ、AED、物干しポールを利用した担架づくり、簡易トイレの組み立て方、消火器訓練を実施しました。

あいち防災リーダー会から在宅避難の方法も学びました。この経験が活きることを望む訳ではありません。備えあれば憂いなし。皆さんの心の備えとなって安心な生活の一助になればと思います。

きそがわクイズ

答え

③の明治時代の終わり頃から

明治39年5月10日に黒田町(曾根を除く)・玉ノ井村・里小牧村の3町村が合併して木曽川町の前身、「黒田町」が誕生しました。そして明治43年2月11日に町名「黒田町」を「木曽川町」と改称しました。それ以来、「愛知県葉栗郡木曽川町」として、平成17年4月1日、「新生一宮市」が誕生するまで続けました。もちろん今は、「一宮市木曽川町」です。

(参考:『木曽川町史』等)